

第2630地区 多治見西ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



「険道運荷駄図」

文化勲章受章者 荒川豊蔵氏描



地域を育み  
大陸をつなぐ

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

例会日 毎週木曜日

事務局 多治見市新町 1丁目 23番地

TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101

n-rc@joy.ocn.ne.jp

<http://tajiminishi.jimdo.com/>

会長 伊藤正雄 会報 松浦毅

幹事 大澤大二 堀義紀

会長テーマ

家族愛 ファミリーなロータリー 愛と夢と展望

第2189例会 2011年5月19日(木)

本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング 我等の生業  
四つのテスト

会長挨拶

出席報告・スマイル報告

委員会報告

幹事報告

卓 話 佐藤八郎君  
「ロータリーの社会奉仕あれこれ」

点 鐘

着信書類

- 次年度会長・幹事・RC 委員長連絡会議の案内

日時：6月3日(金) 午後6時30分

場所：「松正」

- 地区ローターアクト委員提唱クラブ委員長・

RC 役員との合同委員会開催の案内

日時：6月4日(土) 午後2時30分

場所：岐阜都ホテル

先週の記録

- ◆ 出席報告 (出席免除者 5名 内出席者1名)

出席者	欠席者	出席率
27名	6名	81.18%

- ◆ スマイル報告

投函者 18名 金額 20,000円

- ・45周年の時、へたな中国語でごめんなさいね。

山田正史

- ・各務先生のフィリピンの卓話楽しみです。山崎正司

例会変更のお知らせ

土岐 RC → 5月21日(土)

土岐RC創立50周年記念式典

「セラトピア土岐」

中津川センターRC → 5月23日(月)「四ツ目川遊砂工」

環境ワーキング例会の為

## 理事会報告

- ・ 45周年を祝う親睦家族例会収支報告 承認
- ・ 最終例会について  
家族例会とする。  
日時 : 6月23日(木)  
場所 : ボン・マリアージュ
- ・ 協賛金について  
平成23年度多治見市制記念花火大会  
ニコニコ Box より 10,000 円抛出 承認

**会長挨拶** 皆さんご存じのように地震津波対策から、80%以上の確率で予想されている東海地震から政府は静岡県御前崎市にあります中部電力浜岡原子力発電所の全面停止を要請しました。

中部電力は夏場の電力供給力を十分に確保できるか見通すことができず、業績悪化も必然であり、「検討内容がきわめて重要な事項で、多くの皆さまに多大な影響を与えることから継続審議としましたが」先日、政府の要請を受け入れました。どうも国と中電側の事前調整がほとんどなかったようです。仮に3基全てを停止すると、この夏場のピーク見込みに対しての余裕を示す「予備率」は17%から3%程度に急減し業界で適正水準といわれている8~10%を大幅に下回り、想定外の猛暑となれば管内に大停電を引き起こす可能性があるそうです。JR中央線を含めていよいよ私たち多治見市まで日常生活に影響が出てきました。新聞によりますと供給力を確保するために休眠中の火力発電所を再稼働するには設備点検など数カ月の準備作業が必要のようで、ピークの夏場に間に合わないことも考えられる中で政府は、関西電力からの電力融通などで対応可能だと言いますが、中電も東電に電力融通しており中電も約3分の1の原発が定期検査で停止中であり、中電への供給余力は極めて不透明だそうで日本中が混乱することが想像されてきました。中電も全3基を停止し火力発電とすると燃料費など年間2500億円のコスト増となり、今年度に見込む経常利益1050億円が一転赤字に転落する可能性が大きく、社内には「株主に説明がつかない。国の要請で業績が悪化するのなら、国はその分を何とかしてくれるのか」との声も出ているようです。そもそも、電力会社は、特に原発に関しては国営にすべきで、営利追求する民間会社に任せるべきではない。任せながら管理を国が行うシステムではなくフランスのようにすべて国の責任で管理運営すべきで、

日本ならその後に各電力会社に配電すべきであるという意見もありますが、こうなってくると私も同意見です。とりあえず浜岡原発中止は伝達方法、地元雇用対策等いろいろ問題はありますが80%以上の確率で地震発生予想される中での政府方針は間違っていないように思われます。但し、中電、地元市町村、地元雇用対策についてある程度根回しは必要であり、これから官民一体となったきめ細かい対策が必要に思います。  
(抜粋)

### ガバナー会にお寄せいただいた 義援金の集計報告と今後の方針について (ガバナー会より)

東日本大震災義援金のご支援をお願いしたところ、多くの地区クラブ会員の皆様のご理解とご協力を頂き、その金額は5月2日正午現在、約7億8千万円となっております。(下記参照) 心から御礼を申し上げます。日本全地区34名のガバナーによって構成されておりますガバナー会では、皆様からの義援金のロータリーらしい用途について、関東大震災・阪神淡路大震災・中越地震のとき先人ロータリアン達が実践したロータリアンらしい支援活動に学びながら、真剣な議論を重ねてきました。ロータリーらしい支援活動とは①公正にして②建設的であり、なお且つ③温かいプログラムであること、という視点から次の2本の柱を設定し鋭意検討しております。

- 1) 災害遺児の教育環境支援プログラム  
中学、高校、大学、専門学生への奨学金支援。
- 2) ファイブ・フォー・ワン・クラブプログラム  
非被災5クラブが1つのグループを作り、被災1クラブを物心両面で支えるプログラムの展開。

2本柱のプログラムの推進には複数年にわたる皆様のご支援が必要となります。皆様のご協力を頂きながらできる限りの支援の手をさしのべてゆきたいと願っています。

(参照) 2630 地区	3/30	18,119,936 円
	4/19	166,600 円
	4/20	15,053,328 円

来週(26日)はお祝い例会です。

点鐘 : 12時30分  
場所 : 例会場

